

St. Luke's International University Repository

学生生活の実態（調査報告）:序論

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2007-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 花沢, 和江 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/86

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



学生生活の実態 (調査報告)

序 論

花 沢 和 枝

個々の学生の持つ能力を開発し、大学のめざす有能な看護の専門家に育てたいということが我々教師の願いである。

そのためには大学の理念、教育目標を明確にし、指導方法の検討、カリキュラムの改善など、今後の課題が山積している。

これらについては目下、全学で委員会活動、学内研修会などで検討中である。

我々は学生の指導にあたり、個人個人について、またクラスやグループの集団を通して、現代の学生の変化してきた像^{すがた}について戸惑いを感じる場合がしばしばあることに気付いた。

社会の変化とともに、それを敏感にとりこむ若者にとって、その物のとらえ方、考え方、価値観などが変わってくるのはむしろ当然であろう。

今回我々は教育をうける側の学生に視点をあて、生きて、学んで、悩んで、考えている若い学生の実態を知り、理解を深めて心の通う、自主性を生かした指導を考えるため、昭和49年度の看護教員の研修テーマとして、「現代学生の実態を知る」をとりあげその方法として「学生生活実態調査」を行なった。

1972年に日本私立大学連盟で行なった「私立大学生実態調査報告」を参考に、一般大学の学生と共通する部分についてはその項目を採用し、本学の特性である看護の専門教育から派生してくる問題については、1967に本学で行なった「学生の実習指導に関する調査」その他を参考とし、調査項目を作成した。

質問紙は別紙の通りであるが質問項目は38で以下の通りである。

1. 受験の動機
2. 看護を志した動機
3. 入学後の看護に対する考え方の変化
4. 大学生活の目的
5. 自分の勉強態度

6. 大学生生活の充実度
7. 授業についての考え
8. 大学に対する要望と期待
9. 教師に対する要望と期待
10. 実習の充実度
11. 実習を病気以外の理由で休むことの有無
12. 臨床の場で教師を必要とするとき
13. 臨床実習での教師の指導についての意見
14. 臨床指導教師にのぞむもの
15. 看護を専門に学んでいる自分と、一般大学に存学している友人と比較しての意見
16. 不安、悩みとその相談者
17. 尊敬する友人の有無
18. 看護婦に対するイメージ
19. 自分の卒業時点に希望する自己の像^{すがた}
20. 卒後の職場の選択
21. 結婚と看護職に対する意見
22. 課外活動の現状
23. 学外団体に所属の有無
24. 本学の建学の精神であるキリスト教についての意見
25. アルバイト
26. 家庭が負担する費用（授業料を除く）
27. 生活費
28. 住居費
29. 食費
30. 家庭の職業
31. 睡眠時間
32. 通学時間
33. 学内にいる時間
34. 自学自習に費す時間
35. 週末に自学自習する時間
36. 自分の健康状態
37. 入学後の健康状態の変化
38. 健康維持のために実行していること

本調査は昭和50年の2月の終りから3月のはじめにかけて1年生から4年生迄全員に対して行なった。

今回はこの結果を、学生生活一般、実習に対する意識・看護に関して、と三つにわけ、大まかに分析し、考察を加えたものである。

時代は刻々とうつり、学生の生活も、大学の体制も変

ってきているので、早くも現代学生の実態からずれている部分もあるかも知れない。

この資料は不完全なものであるが、今後の学生の指導に、又カリキュラムの刷新に少しでも役に立つことができれば幸いである。

(その1) 学生生活一般

常 葉 恵 子 津 嶋 優 子
熊 田 洋 子 木 下 幸 代

はじめに

第一部は今回の調査に対する回答のうち、学生生活の一般的事項に関係のあるものを、「学生生活一般」としてまとめた。その内容を7項目に分類し、まとめ考察を試みた。

1. 本学受験の動機と学生生活の目的意識
2. 勉学への姿勢
3. 大学への意見と要望
4. 学生気質と悩み
5. アルバイト・サークル活動
6. 日常生活
7. 健康状態

本稿で使用した「一般女子学生」および「昼間部一般学生」とは、日本私立大学連盟編第2回「私立大学学生生活実態調査報告書」(1972年11月)にのべられているものである。

調査結果

1. 本学受験の動機と学生生活の目的意識

学生は本学受験の動機として「将来の就職を考えて」選択した者が51.6% (一般女子学生7.8%)と過半数を占め、続いて「大学の特色・学風にひかれて」14% (一般女子学生22.9%)、「近親者のすすめ」9.6%である。又一般女子学生が、私学受験を「他を不合格となった時のすべり止めとして」19.5%考えているのに比較し、本学においては2%と少なく、目的意識がいっそう明確といえるかもしれない。これは看護を志した動機の間に対して、将来の就職、経済的自立、女性の職業としての誇りが過半数を占めていることと深く関連している。

このように比較的明確な動機をもって入学した本学学生が学生生活のなかで、どのような目的意識をもっているかを調査してみると、第1位にあげたものは「豊かな教養を身につけ、人格を陶冶する」33.3% (一般女子学生38.1%)、「専門的知識・高度の技術の習得」13% (一般女子学生13.1%)が上位を占めている。また、他大学と同様に「大学卒の学歴が欲しいため」は0%である。

2. 勉学への姿勢

学生の勉強態度には学年による傾向の違いがみられるが、全体としては、「授業・試験を要領よくこなし、人生・社会の問題にとりくむ」30.3% (一般女子学生19.7%)が第一位にあげられ、次いで「授業に殆ど欠かさず出席し、着実に単位を習得」24.7% (一般女子学生37.1%)、「ただ何となく過している」24.7% (一般女子学生17.9%)となっており一般女子学生と比較し、第一位、第二位の逆転がみられる。積極的に研究にとりくむという学究型は少なく、与えられたものを着実に要領よくやってゆくという日本人の勤勉さが案外多いことがわかる。これは当時のカリキュラムでは、一週間の授業時間がほぼ44時間と過密であり、これらの回答はそのためによるところが大きいと思われる。

学生生活の充実の度合については「まあまあといったところ」43.1%と第一位を占め、「余り充実していない」31.3%が続いている。

全体的に充実度が低いことは、大学生の一般的な傾向ともいえる。「空疎でいたたまれない」と答えている学生が全体で9名いる。しかしこの間の「学生生活」を学生がどのような意味で回答したかは不明確であり、これらの回答が一概に問題があるとはいいきれないものを含んでいる。

授業に対する学生の満足度をみると、学生の不満がかなり大きいことがわかる。「満足・不満足半々」40.1%

学生生活実態調査質問用紙（見本）

学年_____年令_____

1. あなたが本学を受験した動機は何でしたか、三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入してください。

- A. 建学の精神にひかれて
- B. 大学（私学）の特色・学風にひかれて
- C. 自分の専攻分野の教授陣がよいので
- D. 近親者の奨めで
- E. 将来の就職を考えて
- F. 学費のことを考えて
- G. 先輩・先生に奨められて
- H. 地理的に通学が便利であるため
- I. 一般的な風潮にしたがって
- J. 他を不合格となったときのすべり止めとして
- K. 入試に合格する自信があったから
- L. 受験雑誌や私学展、広告等に接して
- M. その他（ ）

2. あなたが看護を志した動機は何でしたか、三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入してください。

- A. 看護婦（保健婦・助産婦）になりたい
- B. 看護を学びたい
- C. 看護を教養として学びたい
- D. 医学関係の勉強がしたい
- E. 医師になりたかったがいろいろの事情で
- F. 医療福祉関係の勉強がしたい
- G. 将来の就職を考えて資格がとりたい
- H. 経済的独立が可能
- I. 女性の職業として誇りが持てる
- J. 社会のために役立つ
- K. 家庭生活で役立つ
- L. 近親者（先生・先輩）のすすめで
- M. 人の世話が好きなので
- N. 外国に行けるチャンスがあるので
- O. 何となく
- P. その他（ ）

3. あなたは入学後、看護に対する気持ちに変化がありましたか。

- A. はい
- B. いいえ

Aと答えた方は具体的に記入して下さい。

4. あなたは自分の大学生活の目的をどう考えていますか、三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入してく

ださい。

- A. 学問研究を通じて真理を探究すること
- B. 専門的な知識や高度な技術を修得すること
- C. 豊かな教養を身につけ人格を陶冶すること
- D. 資格をとったり、将来の有利な就職・職業を考えて
- E. 職場での地位・待遇の改善のために
- F. 「大学卒」の学歴が欲しいため
- G. 文化活動、スポーツ、その他の課外活動などを自由にすること
- H. 社会のためになる活動をする素養を身につけること
- I. 結婚の相手を探したり、「学生生活」を通じて青春をエンジョイすること
- J. 真の友人を得たいため
- K. とくに目的を意識していない
- L. その他（ ）

5. あなたの勉強態度はどのようなものですか、一つだけ選んでください。

- A. 授業に忠実に出席することはもちろん、さらに広く自主的に研究テーマを設定して積極的な研究に力を注いでいる
- B. 授業にもほとんど欠かさず出席し、教科書・ノートを中心として必要な単位を着実に取得するよう勉強している
- C. カリキュラムは特に意識せず、自分で自由な考えによって積極的にテーマにとりくみ研究を進めている
- D. 授業・試験は要領よくこなし、カリキュラムの拘束をあまり意識せず人生・社会の問題ととりくんでいる
- E. 授業にもあまり出席せず試験が近づくと虎の巻や他人のノートを利用し頭へつめこむ
- F. とくに精力を集中するほどのこともなく、ただ何となく過ごしている
- G. その他（ ）

6. あなたの学生生活はどの程度充実していると思いますか、一つだけ選んでください。

- A. とても充実していて、力がみなぎるのを感じる
- B. とても充実している

- C. かなり充実している方だ
D. まあまあといったところだ
E. あまり充実していない
F. 全然充実していない
G. 空疎でいたたまれない気持である
H. その他 ()
7. あなたは現在受けている授業をどう思いますか、一つだけ選んでください。
A. 授業も内容が充実していて、レベルも高く自分が勉強していく目標として申し分なく満足である
B. 大部分の授業には満足できるが、一部内容が難しすぎたり、低かったりして不満なものもある
C. 満足、不満なものそれぞれ半々くらい
D. なかには満足できるものもあるが、大部分は不満である
E. どの授業にも不満である
F. 関心がない
G. わからない
H. その他 ()
8. あなたが大学に要望したいことや期待することは何ですか、三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入してください。
A. 教師陣の充実
B. カリキュラムの改革
C. 小集団教育の実施
D. 単位認定や学年試験の基準の変更
E. 教室・実験場・図書館などの充実
F. 奨学金・貸付金・融資金などの拡充や増額
G. 学生の就職対策の充実
H. 学生相談の充実
I. 健康管理の充実
J. 課外活動の充実
K. その他 ()
L. 特にない
9. あなたの大学の教師に対する要望や期待は何ですか、三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入してください。
A. 教育を通じて学問のきびしさを教えてほしい
B. 研究者であるとともに良き教育者であってほしい
C. 知識の切り売り、形式的な講義をやめ、もっと講義内容を充実させてほしい
D. もっと研究の成果をあげ、われわれに還元してほしい
E. 休講をなくしてほしい
F. 単に教室を媒介とするだけでなく、学生ともっと個人的な接触・対話の場をもってほしい
G. 学生の人気を気にしないで自分の信条・生きかたを貫いてほしい
H. かけもち講義をやめ自分の大学の教育に専念してほしい
I. 社会・国家・民族に対してのオピニオン・リーダーとして責任を自覚してほしい
J. 現状にほとんど満足している
K. その他 ()
10. あなたは今までに充実した実習が出来たと感じたことがありますか、一つだけ選んでください。
A. よくある
B. ときどきある
C. ない
A・Bと答えられた方にお聞きます。それはどんな時ですか。三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入してください。
a. 患者に喜ばれた時
b. 指導者から自分の行った看護を認められた時
c. 実習の計画を準備して実習にのぞんだ時
d. 実習のグループが気の合った人達である時
e. 自分の心身のコンディションが良い時
f. その他 ()
11. 病気以外で実習を休みたくなり休んでしまうことがありますか、一つだけ選んでください。
A. よくある
B. ときどきある
C. ない
A・Bと答えられた方にお聞きます。それはどんな時ですか。三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入してください。
a. 勉強していない時
b. 実習以外の個人的な問題で悩んでいる時
c. 指導者と性格が合わない時
d. 受持患者と性格が合わない時
e. ケアすることが余りなく、張合いがない時
f. 受持患者が重症で恐しく感じる時
g. 特に理由はないが何となくいやな時
h. その他 ()
12. あなたは臨床の場でどんな時に教師を必要としますか、三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入してください。
A. 新しい経験をするとき(患者のケア、検査処置など)
B. 看護計画をたてる時
C. 患者から質問されてわからないとき
D. 患者や家族とのコミュニケーションがよくとれた

いとき

E. 文献をしらべるとき

F. その他 ()

13. 実習中の教師の指導をどのように感じていますか、三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入してください。

A. 実際の看護の方法を学ぶことができる

B. 実習場にくれるだけで心強い

C. わからないことを質問できる

D. 患者とのコミュニケーションの仕方を学ぶことができる

E. 自分の不備な点を指摘されるようで緊張してしまう

F. 過保護されているような気がする

G. もう少しまかせて欲しい

H. その他 ()

14. 臨床場で教師にどうあって欲しいと思いますか、三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入して下さい。

A. 応用能力をひき出すような助言を与えて欲しい

B. 学生の自主性を尊重して欲しい

C. 専門知識が豊富であって欲しい

D. 思いやりが欲しい

E. きびしく指導して欲しい

F. 友達のようにあって欲しい

G. 細かい注意を与えて欲しい

H. 気分のむらをなくして欲しい

I. 個人的な問題についても相談して欲しい

J. 実習場で実習がしやすいよう物的、人的環境を整えて欲しい

K. その他 ()

15. 看護学部在学しているあなたは、一般大学在学の友人と比べて自分をどう思いますか。それぞれの項目について該当するものを回答用紙に記入してください。

A. 交際範囲が 広い 狭い

B. 経済的に独立しようとする気構えが 強い 弱い

C. 専門職業人として自分・職業・階級体制などに関心が ある ない

D. 強い友情関係を保とうと努力 する しない

E. 異性への関心が 強い 弱い

F. 人間愛や人類愛が 強い 弱い

G. その他 ()

16. あなたの現在の不安や悩みは何ですか、三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入してください。(ただ

し、不安や悩みのない人は答えなくて結構です。)又、その不安や悩みを誰に相談しますか、a～gより選んで回答用紙に記入してください。

A. 勉学上のこと

B. 健康上のこと

C. 自分の性格や能力について

D. 人生観について

E. 就職や将来の進路について

F. 友人など対人関係について

G. 異性問題や性の問題について

H. 家計、学費、借金などの金銭問題について

I. 家族や家庭内のこと

J. 政治・経済などの一般社会問題について

K. 学園紛争やいわゆる大学問題

L. その他 ()

a. 両親

b. 兄弟姉妹

c. 友人(学内)

d. 友人(学外)

e. 教師(学内)

f. 教師(学外)

g. その他

17. あなたは尊敬する友人がありますか。

A. ある

B. ない

Aと答えられた方にお聞きします。どのような人ですか、具体的に書いてください。

18. あなたは現在看護婦に対してどのようなイメージを持っていますか。箇条書きに回答用紙に記入してください。

19. 本学を卒業する時、どのような人になりたいと考えますか。(知識・技術・人間性・態度などについて具体的に回答用紙に書いてください。)

20. あなたは卒業後の職場の選択についてどのようなことをもっとも重くみますか、三つ以内を選んで順位別に回答用紙に記入してください。

A. 収入が多い

B. 安定している

C. 家業や家柄とのかわり

D. 地理的な条件

E. 自分の能力や適性

F. やり甲斐と興味

G. 自由時間や余暇が多い

H. 社会的に評価が高い

I. 社会や他人の利益のため

J. 他人から指図・拘束を受けず独立してやれる

- K. 他人を指導できる
L. その他 ()
21. あなたは結婚と看護職についてどのように考えていますか、一つだけ選んでください。
A. 結婚後も仕事をずっと続けたい
B. 結婚・妊娠・出産などで中断することがあってもできるだけ続けたい
C. 結婚したら仕事をやめたい
D. 子供ができるまで仕事を続けたい
E. 仕事をするためには独身でいたい
F. 結婚したら看護職以外の職業に変わりたい
G. 結婚したら看護職は続けるが他の職種や他の職場に変わりたい
H. その他 ()
22. あなたは現在、部・クラブ・サークル等、学内の課外活動のグループに属していますか、一つだけ選んでください。
A. 最初から全然属していない
B. 名目上属しているがほとんど参加していない
C. 一つに属している
D. 二つに属している
E. 三つ以上に属している
F. 以前属していたがやめた
B～Fに答えた方はその団体名をお書きください。()
23. あなたは現在、学外の団体に属していますか、一つだけ選んでください。
A. 最初から全然属していない
B. 名目上属しているがほとんど参加していない
C. 属している
D. 以前属していたがやめた
B～Dに答えた方はその団体名をお書きください。()
24. あなたは本学の建学の精神であるキリスト教についてどう考えますか、信仰の有無にかかわらず一つだけ選んでください。
A. 積極的に支持している
B. 建学の精神としては良いと思う
C. 関心がない
D. 反発を感じる
E. その他 ()
25. あなたはアルバイトをしたことがありますか。
A. ある
B. なし
Aと答えた方にお尋ねします(過去1年間について)
- ① 期間 a. 週 回 時間
b. 長期休暇中
c. 不定期にときどき
- ② アルバイトをした動機は何ですか。
()
- ③ アルバイトの職種は何ですか。
a. 看護婦(助手) b. 事務関係
c. 販売(サービス業) d. 家庭教師
e. その他 ()
26. あなたは自宅から通学していますか。それとも学寮・下宿・その他から通学していますか。
A. 自宅 B. 下宿(食事つき)
C. 下宿(食事なし) D. アパート・マンション等
E. 親戚・知人宅 F. 本学寮
G. 団体寮 H. その他
27. あなたが家庭からもらう現金は1ヶ月平均どのくらいですか。(自宅外通学者は仕送り額、自宅通学者は家庭からもらう現金いずれも授業料等の学校納入金は除く。)
A. 10,000円以下 B. 10,001～20,000円
C. 20,001～30,000円 D. 30,001～40,000円
E. 40,001～50,000円 F. 50,001～60,000円
G. 60,001円以上
28. あなたの住居費(部屋代・光熱費)は1ヶ月平均どのくらいですか。
※ 自宅外通学者のみお答えください。
A. 5,000円以下 B. 5,001～10,000円
C. 10,001～15,000円 D. 15,001～20,000円
E. 20,001～25,000円 F. 25,001～30,000円
G. 30,001円以上
29. あなたの食費は1ヶ月平均どのくらいですか。
※ 自宅外通学者のみお答えください。
A. 10,000円以下 B. 10,001～15,000円
C. 15,001～20,000円 D. 20,001～25,000円
E. 25,001～30,000円 F. 30,001円以上
30. あなたの家庭の職業は何ですか。
A. 会社員 B. 公務員
C. 農・林・漁業 D. 自営(販売・製造)
E. 教育関係者 F. 医師
G. 看護婦(保健婦・助産婦)
H. その他の医療関係者 I. 宗教関係
J. 自由業 K. 無職
L. その他
父: ()
母: ()
- あなたの最近の生活時間について質問いたします。学

期中のウィークデーにおふるもっとも平均的な『ある1日』を設定して答えてください。(31~34)

31. 睡眠時間

- | | |
|----------|----------|
| A. 5時間以下 | B. 5~6時間 |
| C. 6~7時間 | D. 7~8時間 |
| E. 8~9時間 | F. 9時間以上 |

32. 通学(往復)時間

- | | |
|-----------|----------|
| A. ほとんどなし | B. 1時間以内 |
| C. 1~2時間 | D. 2~3時間 |
| E. 3~4時間 | G. 4時間以上 |

33. 登校してから下校するまでの1日平均時間

- | | |
|-----------|-----------|
| A. 4時間以内 | B. 4~5時間 |
| C. 5~6時間 | D. 6~7時間 |
| E. 7~8時間 | F. 8~9時間 |
| G. 9~10時間 | H. 10時間以上 |

34. 正課外の学習(自宅・図書館等)に費す平均時間

- | | |
|-----------|----------|
| A. ほとんどなし | B. 1時間以内 |
| C. 1~2時間 | D. 2~3時間 |
| E. 3~4時間 | F. 4時間以上 |

35. 週末(土曜・日曜)、正課外の学習に費す平均時間

- | | |
|-----------|----------|
| A. ほとんどなし | B. 2時間以内 |
| C. 2~4時間 | D. 4~6時間 |
| E. 6~8時間 | F. 8時間以上 |

36. あなたは現在、自分の健康状態についてどう思っていますか。

- A. 非常に良い
B. 普通

C. あまり良くない

Cと答えた方は具体的に記入してください。

37. あなたは入学後、健康状態に変化がありましたか。

- A. 良くなった
B. 変化なし
C. 悪くなった

Cと答えた方は具体的に記入してください。

38. 健康を維持するために心がけていることがありますか、該当するものを全て回答用紙に記入してください。

- A. 意識的にバランスのとれた栄養をとるように心がけている
B. 規則正しい食生活をするように注意している
C. 食費はけずらないようにしている
D. 睡眠時間は7時間以上とるようにしている
E. 休日は疲れないようにしている
F. 休日は出来るだけ戸外に出て運動する
G. 週三回以上入浴している
H. 栄養剤をのんでいる
I. 毎日の生活に運動をとりいれている
J. 余暇には趣味の活動をしている
K. 心配ごととは自分の中にとじこめないよう友人やその他の人に話してアドバイスを受けたりする
L. 自分の性格をつかみ客観的に自分をみるように心がけている
M. その他()

A Report of Our Students' Way of Living and Thinking

Kazue Hanazawa, et al.

We had often noticed the difference between actual students' speech and conducts and faculty's anticipation. Then, we investigated into our students' daily lives, their thoughts about nursing and their opinions of their clinical experience.

Their daily lives.....They spent more hours at the school than other college (or university) students, and they slept less hours than other college students. In comparison with other college students, many students joined extracurricular activities outside of their college. We have found that they were doing many activities which belong to medical, religious or voluntary. Many students did the side job. Their purposes were various but not for the school expenses.

Their thought about nursing.....They chose this college for gaining their occupation. For our students, nursing seemed a self-actualizing sort of occupation. They expressed their will to work even after their marriage.

Their opinions of their clinical experience.....Considerable numbers of students satisfied their clinical experience, whenever their patient was delighted with their nursing, they were prepared well for their practice, or appraised well by the instructors. They needed instructors' supports when they learned new techniques of nursing care. They also wanted our thoughtful and effective instruction to draw out their abilities.

From the results of this investigation, we have awared how and what our students actually needed.